

夏場のゴミ対策

水切りならば私にも

毎年のことながら、梅雨が終わるとゴミ処理にとって魔の季節ともいえる夏が訪れます。

年間を通じ7月から9月にかけては、最もゴミ量がふえる時期であり、そのゴミに水分が多量に含まれる時期でもあります。

乾燥しているゴミに比べ焼却処理がしにくく、経費も余分にかかります。

夏場のゴミ出しについて各家庭で、十分水切りをしていただくようご協力をお願いします。

ゴミ処理に夏は魔の季節

いときには36%が水分でした。

収集車（2トンプッカー車）には、1,500～1,700kgのゴミが積載できますが、軽く圧縮するだけで1台につき約50%の汚水が出ます。

いかに可燃ゴミが水切りされていないかわかります。

水切りをしない弊害として、紙のゴミ出し袋を使っていると破れやすく、犬や猫の格好のえさ場になったり、時には集積所周辺がゴミだらけになりかねない結果になります。

さらに、圧縮して積み込むため、水分の多いゴミは収集中破れて、作業員に汚水が飛び散ることもしばしば起きます。

また、水分を含んだゴミは、焼却処理の過程でもゴミだけでは燃えず灯油を燃やして処理しています。焼却量も1日120トンプがせいぜいです。

ゴミ量の30%が水分

過去10年間の可燃ゴミを月平均で見ると、一番多い7・8月が1ヵ月約3,850トンプ、一番少ない2月は2,900トンプです。夏は冬に比べると1ヵ月1,000トンプも差があります。

この大きな要因として、生ゴミの水分過多があります。

市内からでるゴミの組成分析結果でも、ゴミ量の約30%は水分で、多



水分の処理経費 2億4,000万円

可燃ごみに含まれる水分は、ごみ量の30～40%です。

ここで、ごみ量が減るとその分処理経費が軽減すると考えてみると、水分はごみ量の一部ですから年間次のおり処理経費が減ることになります。

(水分含有率30%として)

- 1、水分を1%減らすことができれば、
収集運搬経費は530万円の減
焼却経費は280万円の減
合計810万円の減になります。
- 2、水分が全くないと仮定すると、
収集運搬経費は1億5,974万円減
焼却経費は8,398万円の減
合計2億4,372万円の軽減になります。

水切りアイデア

その1

使い古したパンティストッキングで袋をつくり、流し台の水切りコーナーにかぶせます。茶がらや細かいごみも流れないので排水管の詰まり防止にも効果的です。ごみを出すときには袋をしぼって容器に入れます。



そんなに苦になりませんよ。

その2

ポリ容器の中に側面か底に穴のあいたポリバケツを置き、その中に生ごみを入れて水切りを行います。

なお、ふたに重石（おもし）をのせると水が早く切れ、また、ポリ容器にも排水口をつくと排水がよくできます。



その3

金網のカゴに下の方から包むようにビニールの袋をかけ、カゴの中に生ごみを入れ、水分をビニールの袋で受けるようにします。

ビニール袋は容易に取りはずしができるようにしておきます。



収集された乾電池の山

好結果の乾電池分別収集

4月から従来の分別収集に、さらに乾電池の分別収集を市民のみなさんに協力願って実施してきました。

その結果、当初予想した年間25トンを上回る、4月2,909キログラム、5月2,575キログラムという好結果が出ています。

これからもみなさんのご協力をお願いいたします。

その4

水切りコーナーに生ごみを入れ、水切りをした後、ビニール袋に入れ外からキリで数ヶ所穴をあけ、手で押して水分を絞り集積所へ出します。

生ごみの堆肥化にも協力を

市は、昨年度から庭などのある家庭に生ごみの堆肥化をお願いしています。

生ごみの水切り以上に減量化の効果があるのが穴あきポリ容器による堆肥化です。

ポリ容器は、連合婦人会にお願いして1個1,350円で販売しています。

設置方法は、直径40センチぐらい、深さ50センチぐらいの穴を掘

り、その穴に容器を入れれば使用可能です。

利用方法は、1坪の土地があれば簡単に使用でき、一杯になるのに4人家族で2ヵ月前後かかります。

容器は円筒型ですから、土から簡単に引き抜くことができ、水洗いも容易にできます。

また蓋がしっかりロックできますので、犬猫・ハエなどにも安心です。

容器が一杯になったら引き抜いて土をかぶせ、その場所を移動して新しい穴を掘って利用してください。